

## 平成27年度 わくわく節水実践コンクール「実績報告書」

学校名	熊本市立藤園中学校
校長名	田中 忠
担当者・職・氏名	教諭 園田 功



### 【活動の記録】

宣言項目	生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人に環境保全について興味を持たせる。</li> <li>・清掃時のバケツ水使用を100%にする。</li> <li>・学校全体の水使用量を昨年度より5%減を目指す。</li> <li>・水使用量をグラフ化し、掲示することで節水に対する意欲を高める。</li> </ul>
	職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水を心掛ける。</li> </ul>
行動	生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼びかけのポスター作成や意識を高める掲示の工夫を行う。</li> <li>・環境月間に環境委員会から環境標語を募集する。</li> <li>・清掃時のバケツ水使用100%を目指す。環境委員会で呼びかけ及びチェックを行う。</li> <li>・じょうろで水やりを行う。</li> </ul>
	職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への積極的な呼びかけをする。</li> <li>・教師が率先して節水を行う。</li> </ul>



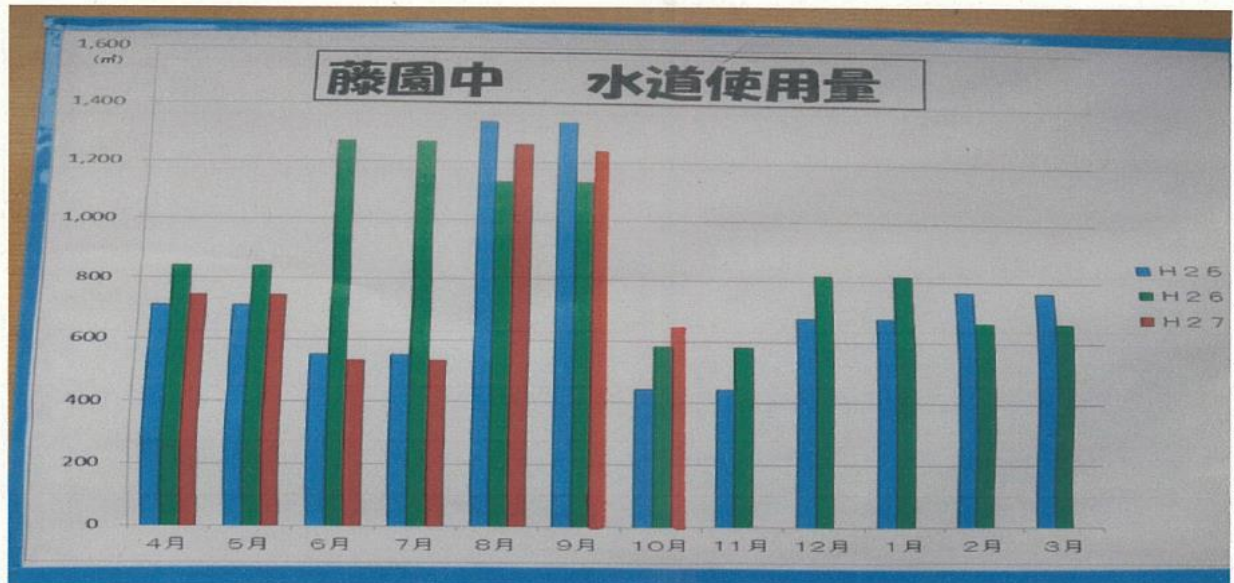




1-1	1-2	1-3	1-4	2-1	2-2
8.1	9.2	8.1	9.7	9.8	9.3
7.6	7.9	7.9	8.7	9.3	8.6
8.1	8.1	8.3	9.3	9.7	9.3
8.9	8.8	7.9	8.6	9.4	8.9
4.9	6.8	6.4	7.8	8.4	5.9
8.4	8.0	7.8	9.1	9.2	8.1
9.0	8.4	8.6	7.7	9.2	7.8
8.6	9.4	8.0	9.5	9.7	8.3
7.8	7.9	6.9	8.3	8.4	5.8

個人の結果を集計し、生徒昇降口前に掲示した。学級ごとの平均値を算出し、前回と比較することで、その後の活動意欲を高めることができた。また、それぞれ、活動に対しての感想を書かせることで、活動が意義あるものになった。

#### (4) 月別水道使用量について



本年度は昨年度比-5%を目標に取り組みを行ってきたが、一学期の使用量は昨年度に比べて大幅に減少した。しかし、8月から10月にかけては、昨年度に比べて、水道使用量が若干増加傾向にあるのが分かった。校内を花いっぱいにすることを目標に掲げ、学校全体で取り組んでいることもあり、環境委員会でも生徒たちが頻繁に水かけを行ってくれた。そのような活動もあり、水道使用量が増えたのではないかとと思われる。今後は、じょうろの使用率を上げ、節水に一層取り組んでいきたい。また、環境委員会等で二学期の水道使用量が増えたことを生徒たちに提示し、考えさせ、節水の取り組みをさらに活性化していきたいと考える。

- 成果
- (○) ○生徒総会で呼びかけを行い、水道の場所に掲示物を提示することで、水道の出っぱなしが以前よりも減ってきているように感じる。また、掃除時のバケツの使用やじょうろの活用も徹底して行うことができた。
- ) ○ほとんどの職員が、節水に意識的に取り組んでおり、積極的に生徒への声かけを行うことができた。
- 課題
- (●) ●全体的には環境問題に関心を持って取り組む生徒が多くなってきたが、そうでない生徒との温度差も大きい。集会などでも生徒の言葉で訴えていくことで、学校全体の雰囲気を変えていく必要がある。また、学校版環境 ISO の取り組みについてもさらに周知徹底が必要である。
- )